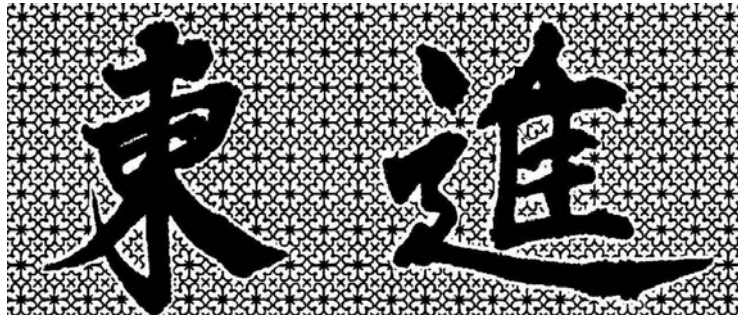


第33号

平成19年
4月20日

題字
植木 満 名誉会長



発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
進修同窓会
東京支部

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
宮崎法律事務所 TEL 03-3221-3711 FAX 03-3221-3713
ホームページ http://www.geocities.jp/t_toshinkai/



平 19. 1. 11 新宿三井ビル 54F 新宿三井クラブ

写真提供 昭31卒 蓮 幸治 氏

**平成19年度東進会総会は平成19年6月16日(土)に学士会館で開催
講演は「バイオエタノールの利用について」日本アルコール販売(株)社長 雨貝二郎氏(昭39卒)**

受付開始：11:00 受付終了後は各種行事が始まるまで適宜会場など会館内でお休み下さい。

開始時間：12:00 母校生徒の吹奏楽部演奏により一連の総会行事が始まり、講演は総会と懇親会の間に行われます。

終了時間：15:30 予定された時間であり多少の変更があるかもしれません。ご容赦ねがいます。

交通機関	東京メトロ 半蔵門線	} 神保町駅	{ 最寄りA9出口から学士会館まで徒歩1分 電車停車位置からA9出口までは、路線・乗車前後位置により差があり数分以上かかります。
	都営 三田線		
	都営 新宿線	} 竹橋駅	{ 出口から学士会館まで徒歩5分と案内されております。
	東京メトロ 東西線		

謳粋会百回開催記念の祝賀パーティー

じゃんけんゲームなど盛会

旬の季節料理、各地の名物郷土料理、世界の自慢の料理、銘酒を酌み交わしながら楽しむ、いなあ、これぞ謳粋会。

生まれたのは、平成10年9月4日、大塚「玉淀」でした。なんとそれから毎月毎月ただの一回の休みもなく、昨年の12月、銀座「スエヒロ」寿店で、スキヤキを楽しんだことで、開催回数は百回に達しました。

そこで、正月気分が残る1月11日、百回開催記念と百からの新たな出発を祝って祝賀パーティーを開催しました。

会場は高層ビルの立ち並ぶ新宿新都心、その中央にそびえる新宿三井ビル54階の新宿三井クラブ、輝く光の海を眼下に眺める天空にありました。

通常、新宿三井クラブは会員制のため一般には利用出来ませんが、29年卒の池田三男さんのお力添えにより実現したものです。感謝、感謝です。

当日は東進会の役員会・幹事会が6時から開催され、その新年会も兼ね、6時半から祝賀会が開催される予定でしたが、5時に会場に向いたところ、既に受付や諸雑用で会を支える方々が集まっておられ、準備に大童の最中でした。脱帽また脱帽。

参加者は通常の例会は20名強が普通なのですが、今回は70名の方がジャンケンゲーム用の500円硬貨を財布に忍ばせて駆けつけてくれました。

会は先ず、篠田謳粋会会長の挨拶。

謳粋会の発足に先立ち、会長就任を逃げ回っていたこと、会場はホームグラウンドとして、31年卒の坂本善之さんが社長をしていた「玉淀」に大変お世話になったこと、そしてその「玉淀」が閉店となり、落ち込んだこと等のエピソードが披露されました。

(そうそう、酒の持ち込みはおおっぱらでしたね、

第1回での「霧筑波」「一人娘さやか」うまかったなあ、今でも其の感覚が残っています。

料理も春は「たけのこ尽くし」冬は「河豚くし」、篠田会長が「玉淀」の板さんと打ち合わせし、それこそ旬の料理を楽しんだものでした。坂本さん本当に有難うございました。



篠田謳粋会会長の挨拶

ついで、大野東進会会長の謝辞。

百回の謳粋会、篠田会長は1回の休みも無く、会場である店の予約はもちろんのこと、事前



大野東進会会長の謝辞

調査、案内状の作成、1升瓶を3本も4本もぶら下げての持ち込み、そして店との打ち合わせ、

そしてそして、終了後は、料理・お酒の解説、出席者の座席までの克明な報告書の作成及び会員への送付、皆を代表して心からの感謝の気持ちを述べました。

(もともと大野東進会会長もこの会の言い出しっぺ、毎回毎回会を支えた大功労者です、本人が言わないだけ。)

乾杯の後、11月に藍綬褒章を受章した41年卒の飯塚哲哉さんを乾杯で祝福し、懇談に入りました。

会食は立食形式、久しぶりの仲間との出会いに、あちこちに人の輪が出来、談論風発、和気藹々でした。

料理はフランス料理、内容はよかったものの、見る残り少なくなる、少なかったかなあと手配の反省も。

「ジャンケンポン……」じゃんけんゲームが始まりました。500円硬貨が、次々に集約していく。



じゃんけんゲーム準決勝

そして、決勝、女性2人、会場の視線が集まる。なんと優勝したのは司会をしていた41年卒の長戸琴さん。神様も、司会をしていて楽しむことが出来ないだろうかと、粋な計らいをしたのでしょうか。

もつとも、賞金はワインに化けて仲間の腹の中に納まったようでした。

最後は照明を消して、各人が赤や青や黄色等のスティックを手に、ネオンファンタジーの中での校歌斉唱、おじさん・おばさんの参加する会としては珍しいことでした。



スティックによる校歌斉唱

ところで、参加者に配られた記念品は2寸あまりのお地藏さん、謳粋地藏、それぞれ表情が違う百地藏、祈願文には「祈念 世界の平和 自然環境」とありました。

10周年にまた元気に会いましょう。(露木記)

謳粋会の各月開催実績

- 第98回 平18・10・12(木) 参加者22名
黄桜台場醸造所
- 第99回 平19・11・9(木) 参加者19名
台場薬(はなしべ)
- 第100回 平18・12・14(木) 参加者26名
池袋・満天星
- 第101回 平19・1・11(木) 参加者70名
銀座・スエヒロ
- 第102回 平19・2・8(木) 参加者20名
百回記念祝賀会 新宿三井ビル54F
新三井クラブ
- 第103回 平19・3・8(木) 参加者19名
西池袋・三春駒
池袋・キャセロール

土浦一高OBゴルフ会の第2回大会 平成18年10月に開催 103名も参加

高8回卒 中村信秀

還暦以上の同窓生による土浦一高OBゴルフ会の第2回ゴルフコンペが平成18年10月20日(金)千代田CCに於いて盛大に催された。

今回参加者は昭和23年中学48回卒の海老原雄一氏を筆頭に25年高卒の田嶋、坂本氏以下40年卒までの103名であった。ちなみに第1回は昨年10月21日参加者64名で霞ヶ浦国際GCにて行われた。今回も天候にも恵まれ、同窓の好もあつて盛大な中に和気藹々のとても和やかな会であつた。



千代田カントリークラブ

コースの高低差、わずか3メートルというフラットな林間コース。
15の池が戦略性を高めている。都心より70分

競技は新ペリアで行われ競技後のパーティーで成績発表、表彰式と懇談会が行われた。成績は団体優勝38年卒グループ、個人優勝

者31年卒の進士義正氏でスコアはグロス100、ネット71.2(賞金1万円)、準優勝32年卒古徳利光氏グロス93、ネット71.4(賞金1万円)、3位35年卒中井川功氏グロス80ネット71.6(賞金1万円)、四位38年卒薬科登氏グロス80ネット71.6(賞金5千円)であつた。ベストスコアは37年卒諸岡章氏スコア72であつた。その他の入賞は5飛びの20名及びBBでさらにドラコン、ニヤピン、くじ引き等で、盛りだくさんの授賞式であつた。

今回は協賛として海老原雄一氏、株式会社土田島屋田嶋為太郎氏、東進会会長大野金一氏、有限会社ナブト中村信秀、鉄竜山小林将城氏と菊田スポーツ店より賞品が多数提供された。

当コンペは当初33年卒佐々木弘司氏の発案で柔道部OBが発起人となつて発足した。その後、各年次毎に世話人をお願いし、その中から有志に幹事をお願いしている。開催規模の許容の都合もあり先ずは還暦者以上で各年次8名程度を目途として皆様に参加を呼びかけてコンペを開催した。日頃、各卒業年次では皆さん盛んにコンペが催されているが、年次をまたいだ会は東進会の春のコンペぐらいで、この会は規約よりも先ずは幅広く参加していただくことを優先することとした。従つて未だ会の規約は設けられてはおりません。

懇談会にて、今後の運営についての話し合いをし、特に今後の運営の要としての会長を引き続き田嶋為太郎氏にご足願うことを満場一致で決議した。

以上本会の目的である一高シニアOBの懇親は、参加の皆様及び幹事方々のご好意とご協力により十分達成されたようです。

次回第3回も新たに41年卒を加え平成19年10月吉日にさらに盛大に催すことが全会一致で決まりましたので引き続き東進会の皆様の御参加を期待します。(その後、この吉日は19日(金)と確定された。)

半了のささやき(第3回) ウサギとカメラ

高山寺 半了

半了のささやきも2年目、第3回を迎えました。これも偏に、痛い所をつくなど真意を理解される高い知性と、心ではバカなやつと思つても口にはしない寛容な心をお持ちの「東進」読者のご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

「ウサギとカメラ」と聞いて皆さんは何を思われましたか。何?又呪文か、いい加減にしろよと思われた貴方。ちよつとおつむが硬くなりかけていますので「注意」を。童謡「トもしも」も「かめよ かめさんよ ト」を口ずさんだ御仁・歌心がありますね。インソツブ物語を思い浮かべた皆さん、正解です。今回は前2回の百歳まで心身共にかくしゃくと元気に過ごせる魔法の呪文、つまり行動原則を卒業し、いよいよ本論に入らせて頂きます。

寓話「ウサギとカメラ」の教えとは何でしょうか。「いくらウサギが俊足であつても、継続した努力を怠れば、鈍足でも努力を怠らなかつたカメラに追い抜かれる」「つまり「油断大敵」とか「自信過剰で思い上がるな」と言つた所が通説ですね。でも昨今賑やかな格差社会を極端に嫌がる方は、「寝ているウサギに声も掛けずに黙つて追い越したカメラはアンフェア」との見方もできますね。

半了は「アオイクマ」の「マ：負けるな」の視点から考えて見ました。つまりウサギとカメラはそれぞれ「何に負けない」と考えたのでしょうか?通説は「相手との勝ち負け」から見た教訓ですね。では、どうしてカメラは勝てる見込みのないウサギとの競争をしたのでしょうか?人生も長くなるとこれ位の疑問は持ちますよね。そうするとこの寓話にも深い深い意味のあることが見えてきます。「カメラはゴールを見て勝ち、ウサギはカメラを見て負けた」とも言えますね。「山の頂上(ゴール)に着く」を目標としたカメラにとっては、

ウサギが先に着こうが、自分が遅れようが、つまりウサギとの勝ち負けには関係がないのです。従つて寝込んだウサギを見て「しめた」とも「起こさなくっちゃ」とも思わない。関心の対象外になりますね。カメラさんは、疲れても、ウサギがはるか彼方に行つてしまつても、途中で諦めず黙々と歩き続けられたんですね。一方ウサギは「カメラに勝つ、つまり他者との勝ち負け」を目標にした。始める前から圧勝が見えているのに勝ち負けに拘り、慢心し一眠りし結局負けるんですね。そうですね、「マの負けるな」とは即ち克己心、つまり自分の弱さに負けないこと」との前のささやきどこか通じませんか?

それ以上に考えるべきは、「目標をどう設定するかが如何に我々の行動を決めてしまうか」なのではないのでしょうか。ビジネス用語で言えば「課題設定」の重要性です。我々はい「HOW TO(いかにやるか)」から入りがちです。でもその前に「WHAT(目標)」をまず考える事が大事なのではないのでしょうか?人間の脳は目的志向にできています。そこで今回のささやき。「目標が行動を決める。そして目標から目を離さない」。昔イングライダーをやつていました。風向きで方向がすぐ変わります。それでも目標から目を離さないと、いつの間にか機首は目標を向きます。しかし向いた方向に目を向けてしまふと彼方此方ふらふらしてついには墜落します。何があつても「目標から目を離さない」はスポーツでも大事なんです。

処で「ウサギとカメラ」でスローライフを思い浮かべた方はいませんか。「スピード・スピード」で日々ビジネス最前線でご苦労している働き盛りの壮年会員さん、どうですか?たまにはのんびりとカメラの様にマイペースで過ごしたいんじゃないですか。健康志向の太目の淑女さんはロハスを思い浮かべましたか。最近ではファーストフードに対してスローフードがはやつていますよね。多彩な興味は若さの秘訣。結構ですね。最後に「百歳まで元気」は目的ですか?其れとも何かをなす為の手段ですか?長生きは迷惑でもありますよ。

第一海軍航空補給廠動員学徒の集い記 念植樹の木製標柱を真壁石標柱に再建

平成18年9月29日、動員学徒の集い実行委員会は、渡邊光夫氏と大津一郎氏(ともに中45回・昭20年卒)などが中心となり、土浦中学及び土浦高女関係者110名の協力を得て、記念植樹の標柱を再建した。

記念植樹は、平成7年4月10日、中学及び高女卒業50周年記念の集いの際、第2次大戦当時の動員先で現在の陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地(旧)奉安殿の森に、土浦中学はヒトツバタゴ土浦高女はモクゲンジを1本ずつ行ない、同時にこれを示す木製標柱をそれぞれ建立した。

その後、年月を経て、木製標柱が倒壊したので、今回の再建に至ったものであり、あらためて後世に伝えるとともに恒久平和を祈念した。



再建された真壁石標柱

今後、霞ヶ浦駐屯地では、寄贈を受けた記

念植樹2本を国有財産としての確に管理することであった。

平成19年度総会で進修同窓会東京支部規約を土浦一高東進会規約に改正予定

規約を土浦一高東進会規約に改正予定

本件は、この記事の標題に示す規約の題名改正のほか、理事から幹事体制への変更(平成18年度総会で承認済み)、会員の資格要件の緩和、企画・編集委員会の規定追加など、東進会役員会において約半年間、数回以上の審議を経た全面的な改正でありますので、多くの会員皆様方の総会出席を期待します。

心の友 海老原順ちゃんを偲んで

東進会副会長 長戸 琴(昭41卒)

彼は生ビールを一気に飲み干すや顔を紅潮させ元気な声で「一高って、本当にすばらしい学校ですよ。僕は多くを学ばさせていただきました。教養はもとより人格形成までも。私を成長させてくれました。」と、私に語りかけた。口元にはビールの泡がついていて、各界で素晴らしい活躍をされている同窓生の集いが開催されるわずかな時間、学士会館地下レストランに「ビールでも飲みに行きませんか」と私を誘ってくれた時のことでした。

生活はあまり楽ではなかった彼から初めてご馳走になった。司会をする私の気持ちを落ち着かせようとした彼の優しい心遣いであった。あの日が、彼と一緒に飲んだ最後の思い出となった。

今年、新年を迎えた元旦。妻と2人の正月であった。午後5時頃、台所に立つ妻に「これ、おいしいね」と言ったまま黙ってしまった。妻が振り返ると、意識を失った彼がいた。

救急車で病院へ。しかし、以後昏睡状態が続き、翌日息を引き取った。「全く苦しみもなく優しい顔をしていました」と妻は涙をこらえず。「脳溢血」であった。



亡き 昭46卒 海老原 順 (本名 蛭原 芳和)さん

茨城生まれの茨城育ちの彼は、教員の父を持つ厳格な家庭に生まれ、一人っ子が故に両親の愛を一心に受けて育った。一高卒業後、明治大学に進み、4年間合唱部で過ごした。そして、シャンソンに目覚めた。大学を卒業後、歌の世界に入り活動を始めたが、生活はかなり苦しいものであったという。

シャンソンの店「マ・ヴィー」を始め、「赤いキャベツ」などでクラブ歌手、司会業と仕事があれば何でもこなした。シャンソン以外にも、座頭市・淡谷のり子・森進一などの物まねを得意とした。最近、昨年9月以降、車椅子の生活であったのに、いばらき大使の仕事にも励んだ。

彼は、仕事柄接客業を兼ねていたため無理にもお酒を飲み、そのお酒が命を縮めた。

彼は、日本航空のステューワーズであった今の妻とめぐり逢い結婚した。妻との生活は幸せいっぱいであった。しかし、妻の病気で悩んだ。仕事の傍ら献身的に看病した。愚痴一つ言わず、嫌な顔も見せなかった。妻にとっては、とても優しい夫であった。歌手という華やかなイメージの裏に人知れぬ涙があった。葬儀は盛大に執り行われた。通夜は雨の降

る寒い日であった。涙雨か……。にこやかに笑みをたたえた遺影の前に棺があった。中には、これが亡くなった人の顔かと思わせるほどの今にも「琴さん、冗談ですよ。生前葬儀ですから。」と、ひょうきんに起きあがってくるかのような艶のある温かい顔があった。人生五十年と昔の人は言ったが、それは何百年も前の話。現在の寿命からすれば、あまりにも早い死であった。現代医療と薬によって寿命は確実に延びた。投薬による治療効果が見られなかったのが口惜しい。

「順ちゃん、天国からシャンソンを聴かせてね」
筆を走らせている原稿に一粒・二粒と涙が落ちた。
芳尾先輩に紹介されて以来14年。私の頼み事に「嫌」と言ったことは無く、何でも快くやってくれた。甘え上手で、人柄のいい彼だった。口癖で「明日があるから頑張れる」と言っていた。

彼は、私の心にも今も「シャンソン」と共に生き続けている。享年54歳 合掌

付記

平成7年10月に挙行された第6回世界湖沼会議のテーマソング「グリーンアップ・ザ・レイク」は、茨城県生活環境部といばらき大使の海老原さんが補作詩したものであり、彼の歌声と共に多くの参会者に感銘を与えた。その歌詞第1節を記して鎮魂とする。

ドウ・ユー・ノー 知っているかい 青い湖 帆
引きの船を
ドウ・ユー・リメンバー 覚えているかい 桜川の
風 波のせせらぎ
明るい 日射しの中で みんな揃って 遊んだね
湖も待っている 風も待っている
レッツ・グリーン・アップ・ザ・レイク
レッツ・グリーン・アップ・ザ・レイク

いんふおめーしょん

ザイン飯塚哲哉氏(昭41卒) 藍綬褒章を受章

この「藍綬褒章」は「公衆の利益を興した方又は公同の事務に尽力した方」を授与対象として送られるものであり、今回の平成18年秋の受賞は、起業成長への功績が経済産業省により評価されたものであります。

以下、ザイン社ホームページから、ご本人の写真と挨拶を転載し紹介とさせていただきます。



ザインエレクトロ
ニクス(株)
代表取締役社長
飯塚 哲哉 氏

このたび藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえにお客様をはじめ、関連業界・団体、当社従業員など社内外関係各位のご指導、ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

日本が文化的にも歴史的にもベンチャーの障壁が強く経験が不足してきた中で、今回の栄誉は、半導体・液晶分野の「ものづくり」において、お客様、パートナーの皆様をはじめとして、国内外における様々なアライアンスを築くことを通じて新事業を確立してきたことが評価され、関係各位を代表して賜ったものと思っております。

21世紀は、個人と知識を重視する企業だけが生き残れる時代であり、まさにベンチャー企業が資本を投下し、個人が豊かに完全燃焼できる場を提供することにより、新たな知識と新産業を創造する原動力が生まれる時代と確信しております。弊社の事業においても、より多くの人材に、新しい事業を立ち上げ、

その技術の発展を世界に問い続けることのできる醍醐味を味わってもらいたい、また、事業提携やM&Aを通じて、新たなチームやパートナーとともに成長していきたいと考えております。また、日本の技術者、専門家たちが、日本で活動することが最大のビジネスチャンスであると感じている経済社会を実現するため、社団法人日本半導体ベンチャー協会の活動や、この度特別委員に就任することとなりました政府税制調査会への参画なども通じて、経済と産業と個人の発展の機会創出に貢献してまいりたいと考えております。

この栄に恥じることがないよう、さらに精進を重ね、起業しやすい環境づくり、そして業界及び社業の発展のため引き続き尽力してまいります。

貝塚平次郎先輩(昭20年卒・中第45回生)

【小説】 初潮 ただ、一途に を出版

現在80歳で益々お元気で活躍中の貝塚平次郎先輩は、文芸社に応募し、同社から平成18年10月、標記の図書を出版されたのでご紹介致します。(定価1100円+税)



「教師」と「教え子」として出会ってしまった、沢口と玲子。運命的なめぐり合いに二人の熱情は激しさを増し、未来へ交わした契りがすべての苦難を乗り越える糧となった。ひたすらに信じ抜き、底なしに愛し合った男と女の物語り、四六判よりやや小型で125頁、一気に読める図書である。

山本嘉子さん(高8回・昭31年卒) エッセイ集「チューリップが好き」を出版

山本さんは、ここ数年來の身辺雑記を取りまとめたエッセイ集を平成18年10月に自費出版された。人柄が良く反映された装幀で内容が充実している図書である。



四六判 251頁
頒価 2000円

購読を希望される方は、左記あて連絡ねがいます。
山本嘉子様 03-3923-2950

本書の出版記念会は何度か開かれ、篠田諷粋会会長からは次に続く寄稿文を頂戴している。

「チューリップが好き」を載いて

昭20年卒 篠田 康

諷粋会の幹事会の出掛けに「郵便が来ていますよ」と家内に言われたが、どうせまた何処かお店のパンフレットか案内広告だろうと思つて「帰つてから見ますよ」とそのまま家を出た。

会議が終わりに、家に帰った先ほどの郵便を手にとると、ズシリと重い。本の様だなと思ひ差出人を見るが判らない。良く見ると右の下の端に小さく山本嘉子(高8回・昭31年卒)と書いてある。「云、山本さんが何だろう」と封を空けてみると、「チューリップが好き」という表題を書いたカバーには、黄色と赤のパロット咲のチューリップが艶

やかに描かれ、目が吸い寄せられる美しさ。装幀もしつかりして外見だけでも几帳面な山本さんが忍ばれる。内容は50編に及ぶ、身辺のエッセイで山本さんの「徒然草」だが、余り無く欠けることなく著わされた文章の妙に次々と引き込まれていく。

私は、白内障で老眼のため、ここ数年來読み書きは全く駄目だった。それが、8月に手術をしてハッキリ見えるようになり、今では新聞の株式市況欄の細かい数字まで眼鏡無しに見える様になった。そんなことで一気呵成に読破した。これは中学生時代に吉川英治の「三国志」以来の出来事かもしれない。

私も定年の証しに銀座のタウン誌に連載していた食いしん坊の記録を纏めたことがあるが、わずか100頁ぐらゐの薄いもので、活字でキツチリ埋め尽くして余裕の無いものでした。

それに引き換えこの本はユッタリスペースを取つて、各所にご自身が描かれた花の墨絵と、グラビア版の花の絵もあり読者が落ち着いて読まれる様配慮されております。

149頁には、「一人歩きした礼状」と題して諷粋会のご紹介してあります。

それは諷粋会というより、私個人の失策に対する論じでした。諷粋会の成功を祈つて、毎回、私は努力している積もりですが、良いのか悪いのか誰も何も言つて来ない。それが山本さんが出席されて、鳩居堂の用箋3枚に亘るお礼状を戴いた。私は喜んで会記録に掲載し、皆様に配布した。しかしその内容は誤植、文字の脱落、読み違いがあるのに、私はそのまま写した積もりで、ご丁寧に(原文のまま)と書き添えた。それを、そんな間違いだらけのものを、無断で載せたと大変ご迷惑をかけた。改めてお手紙と拙文を見比べて恐れ入る次第でした。この本を読むまで何も知らず、誠に申し訳ないことをしました。

最後にカバーの絵は、山本さんが心服する同年代の室屋郁子さんの絵であることが判りました。諷粋会にも又、お出下さい。

メタボおじさんのネパール・トレッキング奮闘記(第1回) 素晴らしきかなネパール王国

昭41年卒 高山 了

企業戦士退役後5ヶ月、メタボリック体形、登山体験ゼロの59歳おじさんが、昨年11月、想定外しかも突然3000m級ネパール・アンナプルナ山系のトレッキングに行く事になりました。最初は不安と好奇心が半々。今は感動と達成感で充実。そんな興奮を誦粋会などで喋っていたら、紀行文を書けとのご指示。そこで①素晴らしきかなネパール王国②ヒンズー式結婚式③おじさん・おぼさんの為のトレッキング入門講座と3回に分けて紹介させて頂きます。初回は「素晴らしきかなネパール王国」と題して、ネパール王国と素晴らしき自然とそこに暮らす人々、そしてメタボおじさんの珍トレッキングの紹介をします。



日本人に馴染み深い雲上の8000m級マナスル山系 カトマンズ⇒ポカラへの機上から望む

ネパール王国は、北は中国、東西南三方はインドと接し、北海道の約2倍の面積、東西約800km、南北約150〜200kmの細長い山岳国です。南はタイ平原からインド平

原へと続き、北は、世界最高峰8848mのエベレスト(ネパール名:サガルマータ、チベット名:チョモランマ)をはじめ8000m峰8座が鎮座。エベレストは1953年ニユーゼーランドのエドモンド・ヒラリーとシエルパのテムジンが世界初登頂に成功。日本人では1970年植村直己と松浦輝夫さん、そして1975年には女性世界初登頂に田部井淳子さんが成功して以降多数の日本人が登頂しています。主峰マナスル8163mをはじめ、ピーク29、ヒマルチェリ等のマナスル3山はどれも日本人が初登頂に成功し、日本人にもっとも馴染みの深い山系です。今回行ったネパール中北部のアンナプルナ山系を世界的に有名にしたのは、人類最初の8000m峰となったフランス隊の足跡を記したM・エルゾーダの「処女峰アンナプルナ」です。このようにネパールは、山を愛する世界中の人々ばかりでなく、民族や歴史、自然や文化、探険等、旅人を引き付けてやまない魅力に富んだ国です(一部、石原裕一郎著ネパールビークハントトレックより)。今回初めて中北部のアンナプルナ山系を6日間程トレッキングして、すっかりその魅力に魅せられました。

それでは、ネパール紀行を始めます。百聞は一見にしかず、ネパールの雰囲気は少しでもお伝えできたらと写真を多用しました。昨年11月、ご縁があつて(次回記述)西遊社主催の「田部井さんと行く秋のネパール満喫アンナプルナ・ダウラギリ展望トレッキング」に突然参加。11月19日朝、成田空港に着くと既に田部井淳子さんご夫妻と私よりはかなりご年配のメンバーの方々には既にお揃い。山と言えば筑波山しか知らない私の不安一杯の胸にポツと希望の灯が灯った。のちのちの間、聞けば皆さん、登山歴20〜40年の山男・山女。8000m級のヒマラヤの名峰も制覇。しまつたと悩む間もなくタイ国際航空機中に。開港数週間の真新しい広大なバンコック新国際空港をキョロキョロしつつ高速度道路でホテル

へ。夕食時の自己紹介で思わず弱音を吐くと、田部井さん初め皆さんが励まして下さり、しこたま飲んだお酒の助けもあつて熟睡。翌朝はいよいよ空路ネパールの首都カトマンズへ。空港は日本の地方空港より貧弱。荷物がなかなか出てこない。空港の周りは小銃武装の兵士が警備。道路は土埃が舞いあがつてデコボコ。バイクと自動車と人の波。レンガ造りだが掘つ立て小屋風の家屋とドブ川。ゴチャゴチャと汚いカトマンズ市内をバスから眺めながら何故かホッと落ち着きました。ネパールの首都カトマンズは一国の首都としてはこじんまりとした町だが、1990年の民主化以降急速な変化を遂げている。人口流入も激しく交通渋滞や大気汚染など都市特有の問題が発生。その為カトマンズ全体が世界遺産に指定されているが、近年環境破壊が激しすぎ改善勧告が何回か出されているが一向に改善されない。指定取り消しも持ち上がっているそうである。昼食はシャングリラホテル。街中とは打って変わって欧米風の建物、庭と花の綺麗な静かな環境。ネパールの光と陰を早くも見てしまいました。



国内線は30人乗りプロペラ機。ロイヤル・ネパール航空の他5社位ありツリーリストの貴重な足。カトマンズ⇒ポカラ30〜40分。カトマンズ空港でイティ(雪男)エアラインに搭乗する。

3日目の早朝国内便イェティ・エアラインでカトマンズから西へ200km、ネパールの軽井沢とも言うべき有名なポカラへ向う。



村の子供達が庭で焚火を囲みながら民謡を演奏。この後我々も誘われ踊り楽しむ。我々の御礼は教材や学校の設備に使われるそうです。

山が綺麗に見える感動のマウンテンフライト。しかしポカラ空港は霧で着陸できず上空でユーターン。午後再度フライトとなり得した気分。ネパールでは良くある事だそうで皆さんは悠々たるもの。ポカラ近郊のサランコット(1592m)のロッジで宿泊。夜は現地の子供達の民謡を聞き一緒に踊り楽しい一時を過ごしました。翌22日はポカラで結婚式参列(次回詳細)。

5日目の23日くらいよいよトレッキング本番。ポカラから専用車で1時間半のナヤプル(1025m)部落からトレッキング開始。しかし車が途中で故障。30分で運転手は慣れた手つきで応急処置。ネパールのトラックやバスはほとんどインドのTATA製。山道と未舗装道路のせいもあるだろうがポロポロと貴重な交通機関なのか屋根にまで人が乗って鈴なり。自動車はトヨタやホンダの多分中古車。ポロポロだがトヨタやホンダのロゴを誇らしげに大きく車体に書いてある。ナヤプルから、いよいよリュックを背負い、谷を下り、川沿いに歩いてトレッキング開始。途中から石畳の階段が続くトレッキング街道を、一歩一歩ゆっくりとしたペースで登る。初心者の中には何とベテランの心優しい女性が付きっきりで、リュックの装備の仕方、息の吐き方、

トレッキングはネパール現地人の生活道路を歩きます。整備された石の道を、馬やロバや水牛と共に歩くので、うっかりできたての糞を踏みつくと厄介です。



トレッキングはネパール現地人の生活道路を歩きます。整備された石の道を、馬やロバや水牛と共に歩くので、うっかりできたての糞を踏みつくと厄介です。

(吸い方ではないのがポイント)、歩くテンポを教えて下さる。最後尾にはシェルパ長が付いて、どんなに私が遅れてもけつして急かさない。「ピスターレピスターレ(ゆつくりゆつくり)」とニコニコ顔。その笑顔に励まされ4時間を歩き通して初日の宿泊地、テックドゥンガ(1540m)へ到着。夕食のネパール産ビールの美味しい事この上なし最高でした。



クランクシャフトを支えるゴムバンド?が千切れたとかで突然ストップ。運転手は慣れたもので車体下に潜ってナイロンロープで応急処置。心配顔で作業を覗き込む



現地のネパール人も「今年で一番美しいヒマラヤ」と絶賛するほど、雲一つない青空に凜としてそびえ立つアンナプルナの山々は何とも荘厳でした。

トレッキング3日目。暗闇の中、早朝5時過ぎにご来光を見る為、プーンヒル(3210m)登山。頂上から見る朝日に輝くアンナプルナ山群、タウラギリ山群のパノラマに大感激。



ヒマラヤ桜は自生種で3種類あるそうです。日本の桜のご先祖と言われています。ネパールで秋に桜が見られ全員大感激。バンザ〜イ。菜の花も綺麗でした。

毎日確実に歩く時間が長くなり、登り下りも厳しくなるが、自然に身体が慣れる様に配慮されている計画に気が付き感謝。心臓破りの石階段を汗でシャツ一枚になり、ふうふうと息をあげながら登りきると、何と頭の上から美しいヒマラヤ桜の花吹雪。バンダテイ(2300m)で昼食。元気回復し本日の目的地ゴラパニ(3194m)まで7時間を歩き通す。

トレッキング4日目。今日の天気は最高だが、コースは最大の難所。Vの字型に川まで石段を延々と下って、更に直登で登り返してランドルの村に到着。所要時間6時間。流石に疲れたが、ロッジの庭一面に咲くマリーゴールドや菜の花畑が疲れを癒してくれる。



アンナプルナ・サウス(7220m)を遠望しながらのトレッキングは最高。山中の6日間全て快晴に恵まれ、下りると天気が悪化したのは幸運であった。



ゴラパニ(3194m)の朝。アンナプルナ山系を見ながらゆったりした朝食と食後のダーズリンティは格別。

ロッジに戻り朝食。今日は左手にアンナプルナサウスやマチャブチャレを見ながら石楠花の林を抜ける。下って下って又少し登って5時間後に宿泊地タダパニ(2590m)に到着。身体もすっかり慣れて快調。少し早回りでビデオを撮影する余裕も出てきた。

ポカラのホテルで7日ぶりに入ったお風呂で実感したやり遂げた達成感は最高でした。そしてネパールの自然、漆黒の闇と満天の星、貧しくとも素朴で勤勉で陽気な人々。日本が失ったものにネパールで出会え感動しました。



ネパールの人は音楽と踊りが大好き。貧しく苦しくても歌と笑顔を忘れない陽気な姿は大変印象的でした。

トレッキング5日目。アンナプルナサウス、ヒウンチェリを背に、山の斜面をトラバース。最終宿泊地のダンバス(1770m)に到着。明日は山を下りてポカラへ。夜はお世話になった現地スタッフを全員招いて御礼のパartyを開催。日本酒に手作りケーキも登場して皆で遅くまで楽しく踊り過ぎました。



ランドル(1640m)のロッジに到着して点てて頂いた田部井流の抹茶は最高。一面に咲くマリーゴールドと共に疲れをすーと取り去ってくれました。

平成19年度 大学合格状況 過年度比

入試年度	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒
北海道大	4	3	6	1	1	1	8	4	3	1
東北大	32	20	23	13	29	21	22	16	17	14
茨城大	5	4	9	8	11	8	9	9	11	10
筑波大	44	32	49	37	46	38	39	29	51	38
千葉大	11	6	10	7	10	5	17	9	11	6
お茶の水女子	3	3	4	3	5	2	6	4	6	5
東京大	32	22	29	20	26	15	21	15	28	19
東京外語大	1	1	3	2	4	3	4	4	3	3
東工大	12	7	15	7	7	6	5	3	7	4
一橋大	5	4	9	6	11	7	4	2	6	3
横浜国立	8	3	3	3	9	6			4	1
京都大	4	1	3	1	7	6	4	1	3	
大阪大	3	1	2	1	2	1	7	4	1	1
神戸大	1	1			1		1	1	1	1
その他	32	15	34	13	30	16	30	14	28	17
国立大計	197	123	199	122	199	135	177	115	180	123
茨城県立医療	2	2	2	2	2	2			1	
首都大東京	2		3		6	6	5	4	3	2
その他	5	4	9	6	6	3	7	2	2	2
公立大計	9	6	14	8	14	11	12	6	6	4
国公立大計	206	129	213	130	213	146	189	121	186	127
防衛医科			1	1	1				1	1
その他	4	2	3						2	2
大学校計	4	2	4	1	1				3	3
国公立医学科	10	2	18	5	16	11	21	10	12	8
青山学院大	16	6	12	9	16	10	12	10	20	18
学習院大	8	5	11	8	17	10	8	7	8	6
慶応大	51	27	76	33	61	31	53	26	68	40
国際基督教大	3	2	2	2	3	2	4	1	7	6
上智大	19	18	37	16	15	5	17	12	30	18
中央大	32	15	36	11	65	31	39	23	32	13
津田塾大	10	8	10	8	9	4	4	4	14	12
東京女子大	13	6	11	7	14	9	7	6	15	10
東京理科大	113	46	95	40	93	45	106	48	110	39
日本女子大	14	8	11	4	13	8	5	4	11	9
法政大	34	16	20	11	23	6	21	13	18	9
明治大	46	18	49	20	71	33	74	40	68	44
立教大	38	22	39	20	31	17	38	23	37	24
早稲田大	99	57	144	68	96	60	87	46	99	68
その他	191	56	165	55	180	92	196	72	125	78
私立大計	687	310	718	312	707	363	671	335	662	394
総計	900	441	935	443	921	509	860	456	851	524

東大現役合格者 全国公立でトップ

昨年は国立や私立の有力大学の合格者が大幅に減少したが、今年も、東大が現浪合計では28名で県立浦和の29名にトップを譲つたものの現役19名は日比谷に並んで全国公立のトップである。

平成19年度の大学合格状況

筑波大は平成9〜12年のピーク時と同じレベルの51名で、全国高校のトップである。早稲田大や慶応大も全国的に見ても高いレベルである。その他の有力私立大の合格者も層が厚くなっている。

平成18年度から通学区域が廃止され全県一学区になって優秀な生徒が集まる可能性が高くなる一方、つくばエクスプレスの開通で東京の私立高校に流れるという危機感から母の進学指導にも熱が入るのであろう。

いんふおめーしょん(追記)
西丸式人氏(昭40卒)の五面体展

水彩アーティスト西丸式人氏の多面体な活躍を5つのブースに展示する初のワンマンショー。風景画・人物画・カバレイラスト・フェイクアート・広告など100点を超える作品と美術関連著書の数10冊を一室に。

期間 平成19年4月21日(土)〜7月8日(日)
場所 南牧村美術民芸資料館(野辺山高原)
長野県南佐久郡南牧村野辺山79-3
(JR小梅線野辺山駅徒歩1分)
電話 0267-98-3238
開館 午前9時〜午後5時 月曜日休館

編集後記

年度ごとの「大学合格状況」は、大野東進会会長のご尽力によるものであります。毎回の寄稿に対し改めて御礼申し上げます。ネパール紀行文はテレビなどでありとりあげられない題材であり、高山氏からの積極的な寄稿、有難うございました。東進本号については、編集当初から原稿不足が予想されましたが、結果はこれに反し紙面不足という事態となりました。多くの皆様方からのご協力ご支援に感謝しております。アドビ・リーダー(アドビ無償提供)を活用して東進会ホームページから東進各号PDF版をご覧になる皆様へ。必要不可欠な事柄ではありませんが、昨年12月頃、アドビ・リーダーが7.0から8.0に更新されております。この更新を実行するようお勧めします。ちなみに東進33号は、ワード2003で編集後、アドビ・アクトロバット8.0でPDFに変換しております。このPDFはコピー保存とカラー印刷も可能です。